



きらきら シニア

～羽曳野市地域包括支援センターからのお知らせ～

問合せ：地域包括支援センター 市役所別館 1階 ②番窓口
☎947-3822 FAX950-1030 E-mail chiikihoukatsu@city.habikino.lg.jp

● 介護予防できらきらシニア～介護予防事業参加者募集!! ●

- ◆申し込みは、地域包括支援室の窓口または電話で受け付けます。
- ◆応募多数の場合は抽選になります。
- ◆初めて教室に参加する方、教室の全日程に参加できる方を優先します。

動いてなんぼ！心も体もはずむ体操教室

楽しく動いて心も体もリフレッシュ！音楽に合わせて有酸素運動(リズム体操)を行う教室です。

- 対象 65歳以上の市民(運動制限のない方)
- 日時 4月21日～6月16日(毎週火曜日)
14:00～15:30 全8回
- 場所 高年生きがいサロン3号館
(古市1541-1 石川プラザ内)
- 持物 タオル・飲み物(お茶か水)・筆記用具
上履き(スリッパは不可)
- 定員 20人程度
- 締切 3月13日(金)

～認知症の人や家族を地域で支えよう～

● 知っていますか？オレンジリング ●

日本の認知症の人の数は、2025(平成37)年には約700万人になると考えられており、高齢者の4人に1人は認知症の人がその予備群だと言われています。

羽曳野市では、「認知症になっても安心して暮らせるまち」を目指してさまざまな事業に取り組んでおり、そのうちの1つに認知症サポーター養成講座があります。講座受講者には認知症サポーターの証としてオレンジリングをお渡ししていますが、みなさんはオレンジリングについて知っていますか？



● オレンジリングの持つ意味

オレンジリングは、「認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族をあたたく見守る応援者」の証です。認知症サポーターにはオレンジリングをつけてもらい、周囲の人にその知識を伝える、隣人や商店、まちで働

く人としてできる範囲で手助けをする、ボランティア活動をするなどできる範囲で活動します。

※羽曳野市の認知症サポーター数は2677人(平成27年1月現在)です。

● なぜオレンジ??

江戸時代の陶工・酒井田柿右衛門が夕日に映える柿の実の色からインスピレーションを得て作り出した赤絵陶器は、ヨーロッパにも輸出され、世界的な名声を誇りますが、同じく「日本初」の「認知症サポーターキャラバン」のオレンジリングが世界のいたるところで「認知症サポーター」の証として認められればとの思いから作られました。なお、温かさを感じさせるこの色は、「手助けします」という意味をもつと言われています。

● グループホーム みやびのもり ●

運営 社会福祉法人 ふくふく会

開設 平成24年 4月

所在地 西浦3-3-23

☎950-0383

グループホーム「みやびのもり」は、27年度の4月でまる3年を迎える羽曳野市ではまだ新しいホームです。(グループホーム「みやび」の弟分になります。)

わたくし共のホームでは、スタッフと入居者様とが日常生活を助け合い、暮らしの中での食事づくりや洗濯、掃除、買物などの家事活動を共にやり、お一人お一人のもてる力が可能な限り、維持できるように支えあって暮らしております。

また、日常のなかに、季節の行事と併せて、5月のしょうぶ湯、12月の冬至にはゆず湯を楽しんだり、あるいは、お彼岸にはお部屋にもって来られたお仏壇の清掃、7月には虫干しなど、折り目、節目に「暮らしの歳時記」が取り入れられるような暮らしを目指しております。

そして、それらと同じくらいにわたくし共ホームが大切にしていますことは、地域との交流です。

お一人お一人が今もなお地域の一員として、馴染みのお店に出掛けての買い物や、お一人で、または2～3人で、時に全員での外出やレクリエーション、地域ボランティアと共に行うクラブ活動などに取り組む忙しい日々を送っております。

随時、見学やご相談を受けたまわっておりますので、ボランティアご希望も併せてお気軽にお越しください。

